魅力と活力ある県立高校を目指して

第二期県立高等学校再編計画の概要

平成30(2018)年度～34(2022)年度

平成29年11月

栃木県教育委員会

第二期県立高等学校再編計画の概要
【平成30(2018)年度から平成34(2022)年度までの5か年計画】

高校教育をめぐる現状と課題

◇高校教育に対する社会の要請

グローバル化の進展など、急速に変化し続ける社会において、高校教育には、生徒一人一人が自己実現を目指して生涯学び続けていける力を育むとともに、持続可能な社会づくりに貢献できる人材を育成することが求められています。

また、人口減少等の進展により社会の活力低下が懸念されており、特に中山間地域など県の周縁部で地域を支える諸活動の担い手が不足してきています。このため、地域社会の将来を担う人材を育成することも求められています。

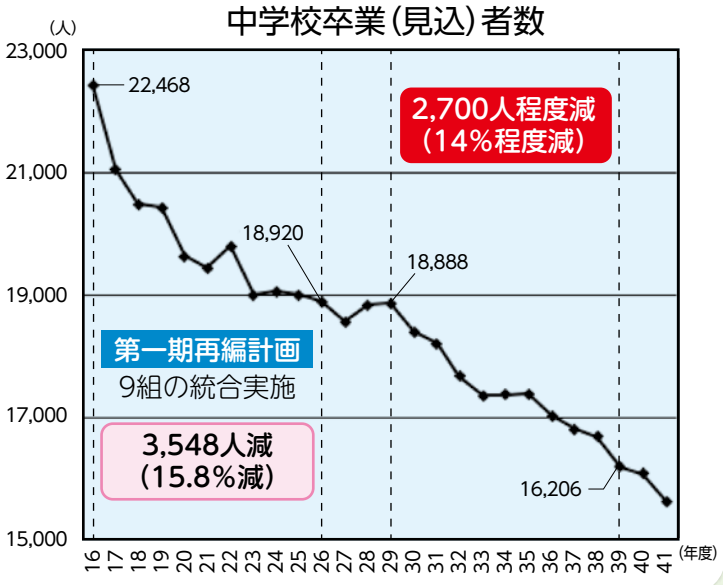
◇県立高校の現状と課題

◆生徒の多様化

高校等への進学率が98%を超えて推移しており、生徒の目的意識や興味・関心、進路希望、能力・適性等は多様化しています。このため、多様な学びのニーズに応える取組の推進が求められています。

◆生徒数の減少

平成30年度以降に見込まれている中学校卒業者数の急激な減少は、高校の小規模化を招き、生徒同士の切磋琢磨の機会が減少したり、多様なニーズに応じた教育が困難になったりするなど、教育の質の低下につながることが懸念されます。このため、適正な学校規模の維持に努めていく必要がありますが、その一方で、周辺地域の子供たちの高校教育を受ける機会の確保にも配慮が必要です。



◆定時制・通信制の役割の変化

定時制・通信制には、不登校経験者や高校中退経験者など、多様な生徒が在籍しています。このため、多様な生徒のニーズに応えられる学習環境の整備などが求められています。

魅力と活力ある県立高校づくり

◇全日制高校の規模と配置の適正化

◆規模の適正化

１学級４０人換算で１学年**４学級から８学級を適正規模**とし、学校の統合などにより、適正な学校規模の維持に努めます。

◆規模の特例（特例校）

県の周縁部に位置する一部の学校は、特例として、１学年**３学級または２学級**で生徒を募集します。

◆学校の統合

各地区の生徒の減少率や、各学校の現状、今後の見通しなどを勘案し、**一部の地区で統合**を行います。

◆男女別学校の共学化

男女別学校の共学化は、**各高校や地域の実情**等に応じて行います。

◆学科の構成と配置の適正化

普通系学科と職業系専門学科の募集定員の割合は、**７：３を概ね維持**します。
各職業系専門学科の募集定員の割合も、**現状を概ね維持**します。

◇特色化の推進

◆各学校の特色化の推進

生徒一人一人の学ぶ意欲や目的意識を高め、個性や能力の一層の伸長を図るため、各学校の特色化を推進します。

◆単位制高校

興味・関心や進路希望等に応じた科目を選択し学習できる単位制を**全日制普通科を中心に導入**します。

◆コミュニティ・スクール

「地域とともにある学校」づくりを進めるため、各高校や地域の実情等に応じて**学校運営協議会を設置**し、コミュニティ・スクールとします。

◇定時制高校・通信制高校の規模と配置の適正化

より**柔軟な学習時間帯**とするなど、多様な生徒のニーズに応えられる学習環境等の整備等に努めるとともに、規模や配置についても検討します。

第二期県立高等学校再編計画【実行計画の概要】

◇全日制高校の規模と配置の適正化

項目＼年度		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
規模の特例（特例校）		日光明峰 馬頭	（地域の生徒減や入学者数の状況等に応じ実施） 益子芳星　茂木　黒羽　那須			
学校の統合						足利※ 足利女子※
男女共学化						宇都宮中央女子 足利 足利女子
学科改編等	農　業		栃木農業	小山北桜		
	工　業		栃木工業	足利工業 那須清峰		
	商　業				足利清風	
	福　祉（総　合）		佐野松桜 真岡北陵 矢板		小山城南（総合学科の福祉系列充実）	黒磯南（総合学科に福祉系列導入）

※H34年度の統合に合わせ、両校の2、3年生は統合新校に転学となります（右ページ参照）。主に足利女子高校の校地を使用することとし、足利女子高校の校地に新校舎等を整備しますが、足利高校のグラウンドや体育館についても、部活動等で使用します。

◇特色化の推進

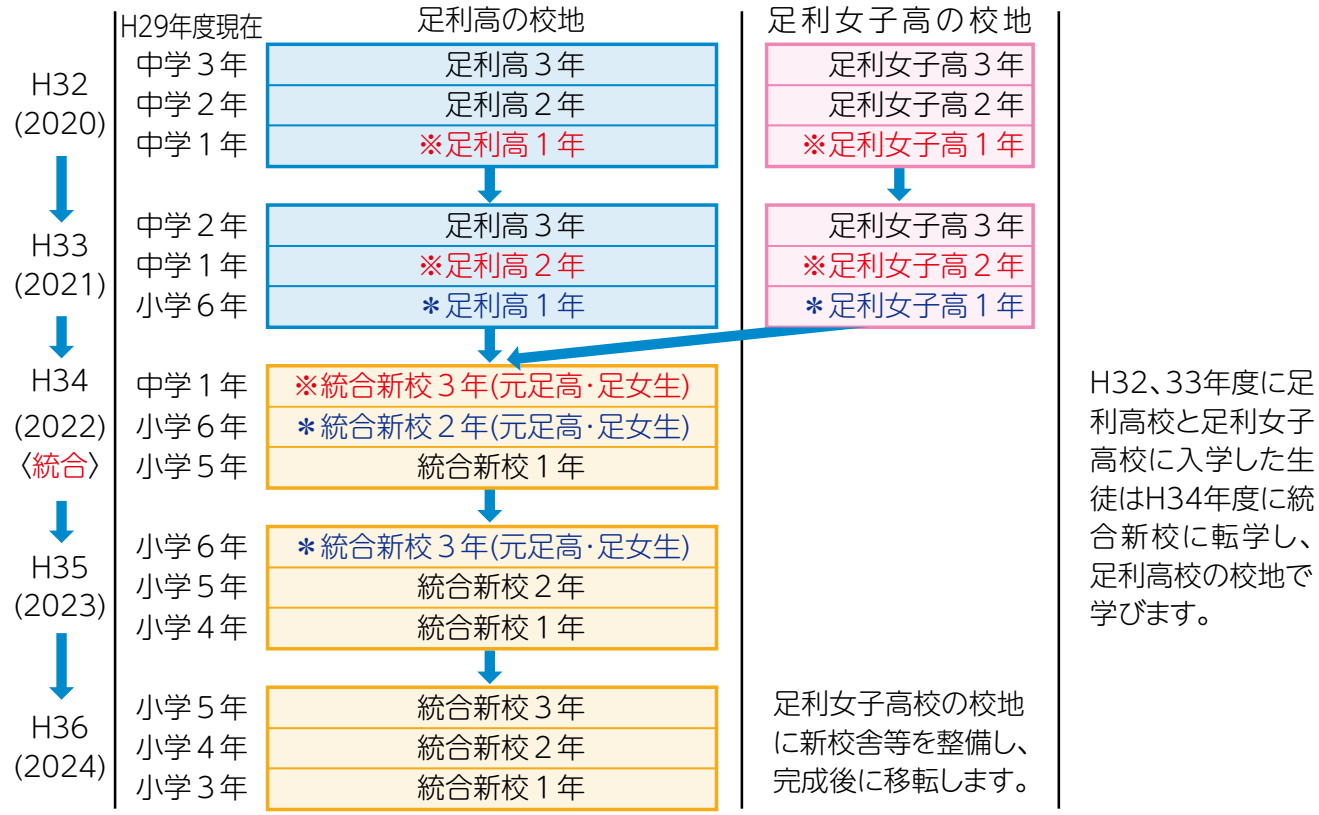
項目＼年度		H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
単位制高校	進学に重点					宇都宮中央女子 足利 足利女子
	多様な学びに重点	馬頭	（３学級特例校に合わせ導入） 益子芳星　黒羽　那須			
コミュニティ・スクール		日光明峰 馬頭	（特例校に合わせ導入） 益子芳星　茂木　黒羽　那須			

◇定時制高校・通信制高校の規模と配置の適正化

項目＼年度	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)
午後部設置（昼夜間二部制）			宇都宮工業		
夕夜間定時制		足利工業 真岡	鹿沼商工		
学科転換等		学悠館（商業科募集停止）	鹿沼商工（商業科を普通科へ転換）		

◆学校の統合

○足利高校と足利女子高校の統合については、統合当初は、足利高校の校舎で学びます。
詳細は下記を御参照ください。



◆学科の構成と配置の適正化

○次の11校で、生徒や地域のニーズに応じた魅力ある学科への改編等を行います。

学科	対象高校	年度	学科改編等の内容（太字は新設学科等）
農業	栃木農業	H31(2019)	農業科、生物工学科、農業土木科、食品化学科、生活科学科 → **植物科学科、動物科学科、食品科学科、環境デザイン科**【コース制など】
	小山北桜	H32(2020)	園芸科学科、造園土木科 → **食料環境科**【コース制】
工業	栃木工業	H31(2019)	電　子　科、情報技術科 → **電子情報科**【コース制】
	足利工業	H32(2020)	電　気　科、電子機械科 → **電気システム科**【コース制】
	那須清峰	H32(2020)	電　気　科、情報技術科 → **電気情報科**【コース制】
			電子機械科 → **機械制御科**（学科名変更）
商業	足利清風	H33(2021)	商　業　科 → **商　業　科**【情報処理科目設置】
			情報処理科 → 募集停止
福祉	佐野松桜	H31(2019)	社会福祉科 → **介護福祉科**（学科名統一）
	真岡北陵	H31(2019)	教養福祉科 → **介護福祉科**（学科名統一）
	矢板	H31(2019)	社会福祉科 → **介護福祉科**（学科名統一）
総合	小山城南	H33(2021)	**福祉に関する系列の充実**
	黒磯南	H34(2022)	**福祉に関する系列の導入**

◆単位制高校

○次の３校に単位制を導入します。

対象高校	年度	設置学科	単位制の特色
足利と足利女子の統合新校	H34(2022)	普通科	進学に重点
宇都宮中央女子（共学化した新校）	H34(2022)	普通科、総合家庭科	進学に重点
馬頭	H30(2018)	普通科、水産科	多様な学びに重点

益子芳星、黒羽、那須の3 校については、3 学級特例校とする年度に導入します。

○１年次は高校の必履修科目を中心に学びますが、２、３年次は幅広く開設された選択科目の中から、興味・関心や進路希望等に応じた科目を選択して学ぶことができます。

○充実したガイダンス指導を受けながら、できるだけ早期に目的意識を明確化し、自分の学習計画に基づいて主体的に科目を選択していきます。

○進学に重点を置く単位制では、進路実現に向けた応用力向上のための科目や学問への探究心を高める発展的な内容の科目を開設するなどして特色化を図ります。

○多様な学びに重点を置く単位制では、職業系専門科目や地域課題等を探究する科目を開設するなどして特色化を図ります。

◇単位制普通科の教育課程イメージ（必履修科目と選択科目の割合）

1年次	必履修科目を中心に学習(数学･英語等で学習習熟度別少人数授業を充実)	
2年次	必履修科目	選択科目
3年次	必履修科目	選択科目

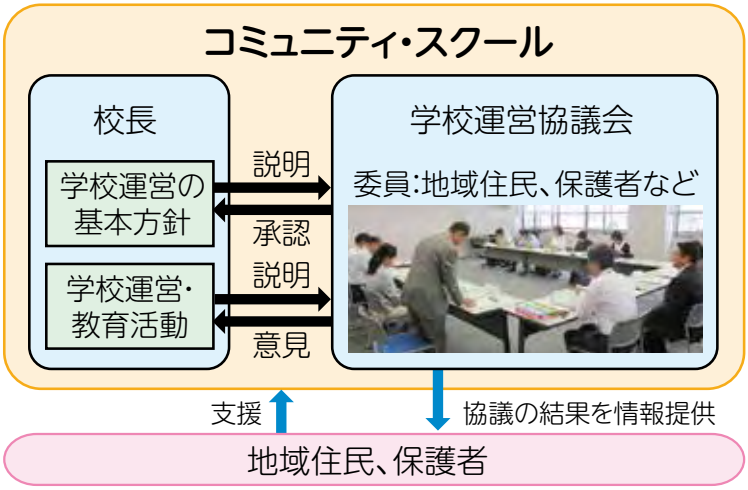
※学年制の高校よりも選択科目の割合が大きくなります。

◆コミュニティ・スクール

○次の２校に学校運営協議会を設置し、コミュニティ・スクールとします。

対象高校	年度	設置学科	再編の概要
日光明峰	H30(2018)	普通科	２学級特例校
馬頭	H30(2018)	普通科、水産科	３学級特例校、単位制導入

益子芳星、茂木、黒羽、那須の４校については、3 学級特例校とする年度に設置します。



※学校運営協議会は、学校運営や教職員の任用に関して、県教育委員会に意見を述べることもできます。

○学校運営の基本方針を地域住民や保護者の方々と共有するとともに、地域住民や保護者の方々の意見を学校運営や教育活動に反映させます。

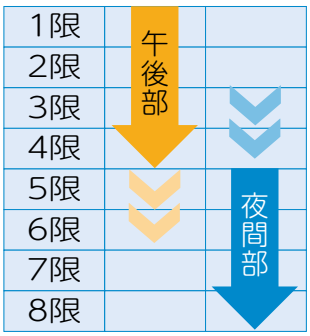
○地域の教育力を積極的に活用しながら、地域ならではの創意や工夫を生かした特色ある学校づくりや地域を支える人材育成に取り組みます。

◆定時制高校・通信制高校の規模と配置の適正化

○次の５校で定時制の改編等を行います。

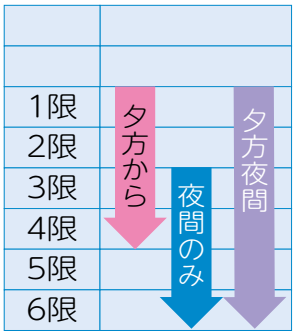
対象高校	年度	授業時間帯	設置学科	再編の概要
宇都宮工業	H32(2020)	午後	普通科	昼夜間の二部制定時制に改編 工業技術科の１学級減
		夜間	工業技術科	
鹿沼商工	H32(2020)	夕夜間	普通科	商業科から普通科へ転換 夕夜６時間の授業を開設
学悠館	H31(2019)	午前･午後･夜間	普通科	夜間部商業科の募集停止
足利工業	H31(2019)	夕夜間	工業技術科	夕夜６時間の授業を開設
真岡	H31(2019)	夕夜間	普通科	夕夜６時間の授業を開設

◇昼夜間二部制定時制の時間割イメージ



三年間での卒業を目指して、自分の所属する部（学習時間帯）以外の部の授業も選択できます。

◇夕夜間定時制の時間割イメージ



自分の学習時間帯を、夕方から４時間、夜間のみ４時間、三年間での卒業を目指して、夕方夜間６時間から選択できます。

〈参考〉高校再編に関する在籍学年別早見表（平成29年度基準）

※ＣＳ＝コミュニティ･スクール

年度	再編の概要	在籍学年							
H29 (2017)		高1	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3
H30 (2018)	・日光明峰高を特例校、ＣＳ導入※ ・馬頭高を特例校、単位制導入、ＣＳ導入	高2	高1	中3	中2	中1	小6	小5	小4
H31 (2019)	・栃木農業高の学科改編 ・栃木工業高の学科改編 ・佐野松桜高 ・真岡北陵高 ・矢板高　} の福祉科の学科名統一 ・足利工業高定時制で夕夜の授業開設 ・真岡高定時制で夕夜の授業開設 ・学悠館高夜間部商業科の募集停止	高3	高2	高1	中3	中2	中1	小6	小5
H32 (2020)	・小山北桜高の農業科の学科改編 ・足利工業高の学科改編 ・那須清峰高の工業科の学科改編等 ・宇都宮工業高定時制を昼夜間二部制に改編 ・鹿沼商工高定時制で夕夜の授業開設、商業科を普通科に転換		高3	高2	高1	中3	中2	中1	小6
H33 (2021)	・足利清風高の情報処理科の募集停止 ・小山城南高の総合学科の福祉系列充実			高3	高2	高1	中3	中2	中1
H34 (2022)	・足利高と足利女子高の統合、単位制導入 ・宇都宮中央女子高の共学化、単位制導入 ・黒磯南高の総合学科に福祉系列導入				高3	高2	高1	中3	中2

第二期県立高等学校再編計画終了時［平成34(2022)年度］における県立高校の配置

凡例

- ☆中高一貫教育校　★単位制高校
- ○総合学科高校　□科学技術高校
- ◇総合選択制高校　■総合産業高校
- ◆総合選択制専門高校
- ＊定時制、通信制設置校
- 第二期計画対象校
- 統合の組み合わせ
- 規模の特例の対象校

県立高校の通学区域(学区)は、平成26年4月に廃止しました。

第二期県立高等学校再編計画の全文は、栃木県のホームページでご覧いただけます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m01/education/kyouikuzenpan/keikaku/koukousaihen-top.html

問合せ先　栃木県教育委員会事務局 総務課 高校再編推進担当
〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20　TEL028-623-3364　FAX028-623-3356